

Doc. No.: NR180508

2018年5月8日

株式会社SCREENホールディングス

ディスプレイ製造装置および成膜装置の新たな生産工場を建設 ～生産能力を強化し、収益性向上を実現～

株式会社SCREENホールディングスは、ディスプレイ製造装置および成膜装置の生産能力増強を図るため、彦根事業所内に新たな工場を建設することを決定。2018年10月の竣工^{しゅんこう}を予定しています。

新工場の完成イメージ

☆この画像の印刷用データ(解像度300dpi)は、
下記URLよりダウンロードできます。

(www.screen.co.jp/press/download/NR180508.zip)



近年、ディスプレイ業界では、中国を中心に大型液晶テレビ、スマートフォンなどの販売が好調に推移しています。また、高画質なフレキシブルディスプレイは、高性能化、薄型化が要求されるウェアラブル端末や電子ペーパー、車載用ディスプレイなどへの活用に期待が寄せられています。さらに、電気自動車を中心とするエコカー市場は一層伸展すると見込まれており、リチウムイオン電池をはじめとする2次電池の需要は、今後も拡大することが期待されます。

これらの市場環境の動向を受けて当社は、中長期的な事業の継続と成長を目指し、生産体制の増強を図ることを決定。総工費約20億円の投資となる新工場は、大型化の進むディスプレイ製造装置に対応できるほか、より微細化が求められる有機ELディスプレイをはじめとするフレキシブルディスプレイ製造装置の生産に対応できる清浄度を実現します。また、2次電池用塗工装置や、グループ会社の「株式会社SCREENラミナテック」が手掛けるディスプレイ後工程装置の製造にも対応。本年3月に設立した中国・常熟の合弁会社「SCREEN FT Changshu Co., Ltd.」と併せ、グループとしての生産能力を拡大するとともに、組み立て費や物流費用を含む諸費用を削減することで、収益改善を目指します。

当社は今後も、ディスプレイ製造装置のさらなるシェア拡大を目指すとともに、ディスプレイ製造装置および成膜装置事業における収益性向上と競争力強化を図っていきます。